

1. 夏の語り指導ワークショップ

今回で8回目を数える夏の語り指導ワークショップは例年にならい3日間行い、その中で部員が行ったリストの活用事例等を発表した。毎年参加者数が右肩上がりです。特に今年はお断りしなければならなかった方も多かったです。夏の暑い盛りに研修を深めることができました。

2. 研究内容

辞書指導(1)～辞書指導シラバス～

今年度から研究部の研究対象は辞書指導になった。もちろん平成24年度完全実施の新学習指導要領に書かれている辞書指導重視が発想の原点であることは間違いないが、「自立した学習者」を育てる意味でも辞書指導は欠かせない。

現行学習指導要領で週あたりの指導時数が3時間になって、それまでやってきた辞書指導をやめてしまった研究部員も多い。そこで今年度はどの語を辞書で引かせて指導するかという「辞書指導シラバス」を作ることにした。

一般の中英研究会の先生に使いやすいように、東京都で使われている教科書ごとに部員がチームを組み、授業中に生徒に引かせて、その語法などを指導すべき語を調査した。

このシラバスを使って来年度はぜひ辞書指導を初めていただきたい。先行研究では辞書指導をすることによって気づき生まれ、生徒がより主体的に学習に関わることがわかっている。そして各種のテストで好成績をあげている例も報告されている。研究についての詳細は研究部ホームページ(<http://www.eigo.org/kenkyu>)を参照されたい。（「都中英研究部」で検索可能）

3. 公開授業

公開授業では葛飾区立葛美中学校の小川登子教諭が中学1年生の授業を公開してくださいました。小川先生は東京教師道場第1期修了生であり、鍛えられた素晴らしい授業であった。

助言者は授業実践では日本でナンバーワンの呼び声が高い小菅敦子先生（東京学芸大学附属世田谷中学校教諭）が得意のオーラル・イントロダクションを自ら披露されるなど、わかりやすいご講演だった。会場の若手教諭はみなメモを走らせていた。

質疑応答では240名を超える参加者から活発に質問や意見が出された。